

令和4年
公認会計士論文式試験
【解答速報】
会 計 学
第1問・第2問

本解答は令和4年8月25日15時に学校法人大原学園が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、本解答は学校法人大原学園が独自の見解で作成・提供しており、試験機関による本試験結果等について保証するものではありません。

本解答の著作権は学校法人大原学園に帰属します。無断転用・転載を禁じます。

第 1 問 答案用紙<1> (会 計 学)

問題 1

問 1

①度外視法による場合の完成品総合原価	②度外視法による場合の月末仕掛品原価
749,115 千円	305,764 千円
③非度外視法による場合の完成品総合原価	④非度外視法による場合の月末仕掛品原価
644,400 千円	288,328 千円
⑤非度外視法による場合の減損費	
122,151 千円	

問 2

⑥減損費の内訳(原料費)	⑦減損費の内訳(加工費)
85,880 千円	36,271 千円
⑧減損費負担後の完成品総合原価	⑨減損費負担後の月末仕掛品原価
744,975 千円	309,904 千円

問 3

度外視法では各バッチの減損に関する加工換算量が考慮されないが、非度外視法では各バッチの減損に関する加工換算量が考慮されるため。

問 4

⑪ か	⑫ こ	⑬ え	⑭ け	⑮ お
-----	-----	-----	-----	-----

第1問 答案用紙<2> (会 計 学)

問題 2

問 1

直接材料費差異			直接労務費差異		
価格差異	2,484,000 円	(不利)差異	賃率差異	81,000 円	(不利)差異
数量差異	180,000 円	(不利)差異	時間差異	120,000 円	(有利)差異

問 2

① 物量	② 価格	③ 能率	④ 176,000 円	⑤ 理想
------	------	------	-------------	------

問 3

メリット：新人工員の生産性を反映させ、不可避の消費余裕が含まれることで、納得のいく目標が設定されることから、新人工員の原価目標達成へのモチベーションを向上させるメリットがある。

⑦ 棚卸資産価額

問 4

メリット：理想標準原価を通じて、回避し得る無駄を完全に示すことができるため、改善活動の責任者は、製造現場に対して、業務のあらゆる段階において継続的な改善が必要であると思ひ起こさせることができる。

問 5

根拠：材料受入価格差異は購入という過程を通過したにすぎず、未費消の期末有高は税法との調整上、取得原価に基づいて評価されるため。

問 6

⑩ 活動基準原価計算

意義：甲事業部では製品Qや製品Rが小ロットで生産され、頻繁に段取が行われる。そのため、コストドライバーに、製品単位レベル活動で用いられる作業時間等ではなく、バッチレベル活動で用いられる段取回数等を用いることによって、製造間接費の正確な配賦計算が可能となる。

第2問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

問 1

A社の投下資本に対する税引後営業利益の割合は 3.6%であり、A社の加重平均資本コスト 3.7%を下回っているため、望ましくない。経営者は不要な設備の削減やリストラクチャリング等を行うべきである。

問 2

名称	インタレスト・カバレッジ・レシオ	数値	2.2 倍
----	------------------	----	-------

問 3

A社のEBITDAは1,070百万円であり、これによると各国の税率、減価償却方法、金利差の利益への影響を抑えることができる。

問 4

設問 1

売上債権回転期間	棚卸資産回転期間	仕入債務回転期間
32.5 日	47.7 日	34.6 日

設問 2

利益を含まない売上原価を用いて棚卸資産と対比することで、棚卸資産の平均残高がなくなるまでにどれだけの期間を要するかを推定できる。

問 5

設問 1

2,100 百万円

設問 2

社債の調達によるB社の買収により、固定長期適合比率は 88.5%から 80.0%に改善されたものの、自己資本比率は 17.0%から 10.7%に悪化しているため、長期的な財務安全性についてマイナスの影響が生じている。

第2問 答案用紙<2>
(会 計 学)

問題 2

問 1

ア	イ	ウ
4	4	24,000,000
エ	オ	カ
6,400	42,000,000	25

問 2

用語	機会損失	金額	18,000,000 円
----	------	----	--------------

問 3

市場が縮小する中、赤字のリスクを小さくするために、外注加工への更なる切り替えを検討する等、固定費の変動費化を進める。

問 4

市場が拡大する中で、自社ブランドの確立を図る施策の良否は、他社よりも高い売上総利益率が保たれているかどうかにより判断すべきである。

問 5

設問 1

20X1 年度末	20X2 年度末	20X3 年度末
94,656,000 円	92,756,000 円	90,856,000 円

設問 2

正味現在価値が 131,960,144 円 となるため、

アタッチメントを購入し利用するのが

有利である。

不利である。

(いずれかを○で囲む)